

豊乳娘が
限界露出

風吹
ケイ
Jカップの
恵み

特大ホスター
おまけ付き

新「おしりいな」
参上!

やわらか
エロス

レスリング
元チャンピオン

瀬上
ひかる

山岡
雅弥
くんず
ほぐれつ

岩井明愛&千怜
吉田優利 リ・ハナほか
U-23びちびち
女子ゴルファー

青春の追憶エロス 松坂慶子 原田美枝子 風吹ジュン 小柳ルミ子ほか
下半身強化で若返り
「あの女優の白い美乳」を思い出す オトコの美尻体操

ジャニーズから梨園に広がった「性加害」告発

市川猿之助「両親を道連れ心中」の裏

小島瑠璃子が縋り付く「大金持ち」
ついに始まった「人食いヒグマ危機」

詐欺・強盗・医療崩壊

マイナンバーカードではあなたは破滅する

それ、自律神経のせいです

血圧、睡眠、排尿、何かおかしい

誰でもできる「ラクラク介助術

プロ野球下半身
スキヤンダル史

女で選手、生命を絶たれた人びと

「贈与の大改悪」まで
あと「6ヶ月」！

「人生の垢」を
お力ねに
換える
お仕事
樂に稼げる
意外と
お仕事

一気に資産が減る
「危ない相続」に
要注意

特別定価
550円
27
Weekly Gendai
2023 May

初心者のための
必勝プラン
「資産倍増」

夏からの
電気代アップに
備えよ
年金を
減らさず
殖やすコツ

退職金の
残りを
上手く回す

皇帝の心理「トカゲの尻尾」は切られる
丸川珠代も中村雅俊も取り込む「金権人脈」

連続追及なんだから黒いぞ、大阪万博
岸部四郎 死ぬまで素人

儲けたのは商社だけじゃなく最新決算で読み解く
インフレに勝つた日本企業ベスト40

バカみたいに儲けたのは商社だけじゃない
ブリヂストン、味の素、山崎製パン、神戸製鋼所ほか

ブリヂストンは高品質
タイヤが北米で好調だ

インフレ 日本企業

味の素は値上げに踏み切り、業績が好転する

具体的には、製パン大手の山崎製パンや調味料大手の味の素、菓子大手の江崎グリコといった有名企業の業績は値上げが浸透してきたことで、増益傾向が強い。

食料品を取り扱うスーパーやコンビニも値上げで販売数量は減少傾向にあるものの、客単価が上がっているので、業績は堅調です。国内流通企業のツートップ、イオンとセブン＆アイ・ホールディングスの株価も堅調に推移するのではないか」

なかでも味の素は、今うち3人が推奨する注目

このところ、堅調な株価推移を見せてきた鉄鋼業界も明暗が分かれそうだ。前出の岡山氏が言う。建築用の小形棒鋼が主力の東京鐵鋼は、都心部を中心とした高層マンション向けの需要増と、価格転嫁の進捗で、今期大幅増益の見通し。高炉国内3位の神戸製鋼所も、素材の調達コストの増加を価格転嫁し、収益を確保する見通しです」

一方、粗鋼生産量で国内トップの日本製鉄は、原料価格に転嫁することができず、今期大幅な減益

を見込み、株価は低迷している。
「これまで急ピッチで電気料金を値上げしてきた電力各社も業績は改善する見込みです。なかでも中部電力と関西電力は、今夏の値上げを予定していないません。つまり、これまでの値上げで十分に収益を確保できる」ということです」(しばぎん証券元顧問の安藤富士男氏)
電気料金や物価はどんどん上昇しているが、海外から見ると日本のインフレ率はまだまだ高いとは言えない。したがって、「安いニッポン」で買い

それでも「安いニッポン」

からといって買わないと
いう選択肢が取れない側
面があります。同業他社
も含め、全般的に値上げ
傾向にあるため、言い方
は悪いのですが、ここで
とばかりに安心して値上
げしている。中でも消費
者に仕方がないと受け入

銘柄だ。インフレが先行する海外で幅広く事業を展開しているため、度重なる値上げで利益率が改善しているのだ。

味の素と同じく3人の識者から推薦を受けたブリヂストンも同様だ。

「同社は日本以上にイン

フレが進む北米でも事業を展開していますが、高付加価値イヤを投入し、原材料高に見合うだけの値上げを実現できています。円安の影響も加味されて、3期連続の增收となる見込みです」(株式評論家の渡辺久芳氏)

最新決算で読み解く に勝った

高価格と低価格帯の双方を攻撃する山バ

原 料 寶 花 生 傅 拿 納 麵 粉 雞 肉 進 先 神 百 藝 德

'23年3月期の決算が出揃った。インフレや人手不足にもかかわらず、業績を好転させた企業が続出。その結果、日経平均株価は5月17日に1年8カ月ぶりとなる3万円台に終値を乗せた。

すなわちインフレ下でも業績を伸ばした企業を分析した（3ヶ月期決算以外の企業は、直近の決算数字を参照した）。

「技術商社の高千穂交易は、主にセキュリティ関連のエレクトロニクス機器を海外から輸入し、附加值をつけて国内外に販売している点が有望です。また、金属ホックなどの服飾付属品の専門商

を商品やサービスの価格に転嫁し、同時に徹底したコスト削減を行つて、いる企業は、インフレで業績を伸ばす「勝ち組」と判断できるでしょう」（マーケットバンク代表の岡山憲史氏）

庶民にとつて、このところの物価上昇は非常に厳しい。一方、価格転嫁で業績を好転させていたる企業が数多くあるのも事実だ。生活難を打破するため、こうした企業に投資するのも一つの方法だろう。

5大商社とも減益になる見込んだ。すでに高騰した株価を考えると、投資妙味も薄れつつある。

そこで岡山氏が注目するの、専門商社。

「品の場合は、直々ドリーバー」と
松井証券シニアマーケットアナリストの窪田昭一郎氏が解説する。

「技術商社の高千穂交易」は、主にセキュリティ関連のエレクトロニクス機器を海外から輸入し、附加值をつけて国内外に販売している点が有望です。また、金属ホックなどの服飾付属品の専門商社、モリトは従来品に加え、環境に配慮した高付加価値商品の販売拡大に期待が持てます」

商社ほどではないが、食品メーカーも業績を伸ばしている業界である。消費者にとって食料品の値上げは厳しいが、企業にどうつては当然、業績ア

インフレに勝った日本企業ベスト40 その②

銘柄・コード・市場・業種	最低投資金額	前期増益率 (実績)	今期増益率 (見通し)	寸評(選者)
神戸製鋼所 5406・東証P・鉄鋼	11万1800円	20.8%	37.8%	国内鉄鋼大手。価格転嫁が進展し、前期は利益が大幅に上振れ。今期も好調な見通し(岡山)
JFEホールディングス 5411・東証P・鉄鋼	17万9800円	-43.5%	16.8%	鉄鋼大手JFEスチールの持ち株会社。鋼材需要の回復と販売価格上昇で収益改善(今井)
東京鐵鋼 5445・東証P・鉄鋼	25万4800円	-	23.0%	建築用棒鋼が主力の鉄鋼中堅。価格転嫁が想定以上に進捗し、黒字幅拡大を見込む(岡山)
三菱マテリアル 5711・東証P・非鉄金属	23万9100円	-54.8%	101.7%	非鉄金属で総合トップ。金属価格の上昇とコスト転嫁で今期V字回復。大幅増配も(安藤)
クボタ 6326・東証P・機械	19万7200円	-10.6%	18.9%	農機国内トップ。製品の値上げ効果も大きく、今期は最高益更新へ。自社株買いも好感(渡辺)
酒井重工業 6358・東証P・機械	44万3000円	18.7%	8.0%	道路舗装機械の専業大手。北米・インドネシアでも現地生産。原材料高を価格転嫁(岡山)
ユアサ商事 8074・東証P・卸売	43万4500円	25.1%	16.1%	工作機械を扱う老舗商社。タイを中心に海外事業も強化し、業績好調で今期増配も(岡山)
デサント 8114・東証P・繊維製品	41万5000円	69.4%	4.3%	伊藤忠傘下のスポーツウェア大手。値引き処分が減って、国内事業の採算が急改善(岡山)
サンリオ 8136・東証P・卸売	63万4000円	138.3%	0.5%	キャラクター商品に加え、テーマパークも運営。前期の好調な業績を今期も維持(大川)
イオン 8267・東証P・小売	28万6050円	228.7%	16.9%	総合スーパーを展開する流通大手。インフレで好採算のPB商品の売り上げが伸長(窪田)
三菱UFJフィナンシャル・グループ 8306・東証P・銀行	9万2930円	-1.3%	16.4%	3大金融グループの一角。利上げで海外融資の利ざやが改善し、今期増配も視野に(安藤)
三井住友フィナンシャルグループ 8316・東証P・銀行	57万2800円	14.0%	1.8%	メガバンクの一角。インフレが続き、日本も利上げ局面になれば業績急拡大を見込む(安藤)
AZ-COM丸和ホールディングス 9090・東証P・陸運	21万8800円	27.0%	12.5%	小売業に特化した物流業者。コスト増も顧客と価格改定を交渉して、業績好調を維持(戸松)
日本航空(JAL) 9201・東証P・空運	27万3300円	-	59.8%	国内2位の航空会社。インバウンドやリベンジ消費で運賃の単価が高水準で推移する(安藤)
中部電力 9502・東証P・電気・ガス	16万7100円	-	501.6%	国内電力3位。法人向け料金値上げが寄与し、前期は黒字転換。今期は大幅増益へ(安藤)
関西電力 9503・東証P・電気・ガス	15万6500円	-79.4%	1725%	国内電力2位。電気料金の値上げによる增收に加え、今期は燃料価格の低下も見込む(安藤)
INTLOOP 9556・東証G・サービス	64万8000円	51.3%	54.8%	独立系コンサルティングファーム。DXに強く、フリーランスの人材派遣も手がける(戸松)
共立メンテナンス 9616・東証P・サービス	52万4000円	686.8%	43.8%	ビジネスホテル『ドーミーイン』を展開。今期の稼働率と客単価は高水準で好調維持(渡辺)
京都ホテル 9723・東証S・サービス	7万4300円	-	61.3%	『ホテルオークラ京都』などを運営。インバウンドで客室単価が向上。今期復配も(窪田)
モリト 9837・東証P・卸売	10万9100円	19.0%	7.5%	アパレル向き金属ホックで世界トップ級。原材料の高騰もこなして、増益が続く(岡山・戸松)

最低投資金額は5月17日現在。増益率は、各社直近の決算発表による当期純利益(連結)の増加率(前期比)を表す

物を楽しもうと、海外訪問客のインバウンド需要は旺盛だ。外国人観光客相手のビジネスはまだ値上げの余地がある。「地域限定のお土産菓子を製造・販売する会社をいくつも統括する寿スピリッツは、消費者の低価格志向とは一線を画す存在です。購買意欲が旺盛なインバウンド客にも人気があるため、強気な価格設定を能動的に行うことができます」(グローバルリンクアドバイザーズ代表の戸松信博氏)「訪日旅行客の回復で、日本航空は順調に業績回復するでしょう。やはり一度破綻して借金が大幅に減った影響が大きい。今期の増益率は約6割を見込んでいます」(前出・安藤氏)「ホテルが多少宿泊料を上げても、外国人旅行客は文句も言わず泊まります。外資系に比べれば、国内のホテルは値上げ幅が控えめです。」

インフレに勝った日本企業ベスト40 その①

銘柄・コード・市場・業種	最低投資金額	前期増益率 (実績)	今期増益率 (見通し)	寸評(選者)
日揮ホールディングス 1963・東証P・建設	16万8500円	-	4.4%	石油プラントなど総合エンジニアリングで国内首位。今期業績の上方修正にも期待(安藤)
ジェイエイシーリクルートメント 2124・東証P・サービス	22万7200円	29.5%	7.7%	人材紹介業。幹部級の人材斡旋に強い。人件費の高騰で、紹介業の収益も上昇する(大川)
森永製菓 2201・東証P・食料品	44万円	-63.8%	21.3%	大手菓子メーカー。前期は原料高で利益後退も、今期は値上げ効果で採算改善へ(岡山)
江崎グリコ 2206・東証P・食料品	37万1500円	-40.1%	23.5%	「ポッキー」などの菓子メーカー。原料高の影響も、今期は価格改定で業績好転へ(窪田)
山崎製パン 2212・東証P・食料品	20万1300円	19.2%	21.3%	パンで国内シェアトップ。値上げ効果で業績は堅調に推移。低価格帯も好調(窪田・渡辺)
寿スピリッツ 2222・東証P・食料品	104万4000円	266.4%	11.9%	お土産用が軸の菓子大手。原材料や光熱費高を価格転嫁し、インバウンドでV字回復(戸松)
アウトソーシング 2427・東証P・サービス	12万3700円	-	80.9%	工場の製造ラインへ人材を派遣し、海外事業も展開。人件費増でマージンもアップ(大川)
高千穂交易 2676・東証P・卸売	25万2400円	37.2%	3.6%	独立系の技術商社。システム機器とデバイスの販売を強化し、円安が収益に寄与する(岡山)
キッコーマン 2801・東証P・食料品	81万1000円	12.4%	0.4%	醤油で世界最大手。海外売上高比率が高く、北米を軸に値上げが浸透。円安も追い風(大川)
味の素 2802・東証P・食料品	50万8900円	24.2%	1.0%	うま味調味料最大手。海外では値上げが浸透し、原材料高にうまく対応(安藤・大川・窪田)
ニチレイ 2871・東証P・食料品	31万500円	-7.8%	3.9%	冷蔵倉庫と冷凍食品でトップ。冷食市場も成長し、値上げも徐々に浸透する(安藤・岡山)
トレジャー・ファクトリー 3093・東証P・小売	17万5200円	143.2%	9.2%	家電や家具などのリサイクルショップを展開。インフレで需要が増え、利幅も拡大(大川)
東急不動産ホールディングス 3289・東証P・不動産	7万4400円	37.3%	28.6%	東急系の不動産大手。ホテルなどの客単価向上で、2期連続の過去最高益更新へ(今井)
セブン&アイ・ホールディングス 3382・東証P・小売	64万円	33.3%	1.4%	流通国内トップ。電気代などの高騰が響くが、商品に価格転嫁し、業績は堅調に推移(窪田)
TSIホールディングス 3608・東証P・繊維製品	7万1000円	199.6%	14.3%	「ナノ・ユニバース」などを展開するアパレル大手。値引きの抑制で、利益を維持(岡山)
オリエンタルランド 4661・東証P・サービス	53万1000円	900.7%	7.8%	ディズニーリゾートを運営。人件費増も、価格転嫁でこなし利益継続。今期増配も(戸松)
ラウンドワン 4680・東証P・サービス	6万2100円	147.3%	20.0%	ボウリングやカラオケなどエンタメ施設を展開。レジャー熱は高く、価格転嫁が容易(大川)
OATアグリオ 4979・東証P・化学	16万7500円	55.3%	17.2%	農薬と肥料の開発・製造を手がける。原材料高一服で利幅拡大。ガーデニング需要も(大川)
横浜ゴム 5101・東証P・ゴム製品	30万6000円	-29.9%	24.1%	国内3位のタイヤメーカー。値上げの浸透に加え、外出機会の増加が追い風になる(大川)
ブリヂストン 5108・東証P・ゴム製品	56万4000円	-23.8%	11.6%	世界首位のタイヤメーカー。原材料高には、値上げと高品質化で対応(安藤・大川・渡辺)

物を楽しもうと、海外訪問客のインバウンド需要は旺盛だ。外国人観光客相手のビジネスはまだ値上げの余地がある。「地域限定のお土産菓子を製造・販売する会社をいくつも統括する寿スピリッツは、消費者の低価格志向とは一線を画す存在です。購買意欲が旺盛なインバウンド客にも人気があるため、強気な価格設定を能動的に行うことができます」(グローバルリンクアドバイザーズ代表の戸松信博氏)「訪日旅行客の回復で、日本航空は順調に業績回復するでしょう。やはり一度破綻して借金が大幅に減った影響が大きい。今期の増益率は約6割を見込んでいます」(前出・安藤氏)「ホテルが多少宿泊料を上げても、外国人旅行客は文句も言わず泊まります。外資系に比べれば、国内のホテルは値上げ幅が控えめです。」